

慈善茶会実行委員会

担当副理事長名：石渡 隆雄

委員長名：石渡 隆雄

副委員長名：榊原 正博

委員名：

1) 事業報告

(Ⅰ) 人を大事にする心を育み、慈善茶会への意識を高める為の事業の開催

- (a) 内 容：勉強会の開催
- (b) 時 期：2012年 2月28日
- (c) 開催場所：松林庵
- (d) 対 象：正会員20名 入会希望者1名

(Ⅱ) 第44回慈善茶会の開催

- (a) 内 容：慈善茶会の開催
- (b) 時 期：2011年 5月12日
- (c) 開催場所：大仏殿高德院
- (d) 対 象：正会員31名 OB14名、お客様（茶券）496名、
松林庵関係者15名、淡交会鎌倉支部25名、
淡交会鎌倉支部青年部40名、鎌倉女子大学茶道部14名、
鎌倉高校7名、七里ガ浜高校7名、深沢高校7名、
鎌倉ユネスコ協会30名、こぼとナーサリー18名、
社会福祉法人清和会3名、回廊協働団体25名 合計732名

(Ⅲ) 関係諸団体との信頼関係を構築する為の事業の開催

- (a) 内 容：第44回慈善茶会後に懇親会を開催
- (b) 時 期：2011年 5月12日
- (c) 開催場所：華正楼
- (d) 対 象：正会員25名 入会希望者1名 OB12名
協働団体関係者10名

委員会報告

慈善茶会実行委員会では、茶道を通じて心の豊かさ、とりわけ人を大事にする心を育む事を目的に一年間活動して参りました。

2月例会では、第一部を慈善茶会について、第二部を茶道の講義、第三部を茶道の体験の三部構成で開催しました。会員には、慈善茶会に対する意識を高める事が出来た事は、慈善茶会の各役割を理解し行動出来る事に繋がり、ひいては茶道の教えのひとつであるおもてなしの心を通じて、人を大事にする心が育まれると確信致します。

5月例会(第44回慈善茶会)では、全ての参加される方々が人とのつながりの大切さ、日本文化を通じた人との縁の尊さを実感して頂く為の場と致しました。回廊では、鎌倉青年会議所による防災からみた鎌倉の地域の「わ」を感じて頂く為のブースを設置致しました。茶会当日は、晴天に恵まれ、会員、協働団体関係者の心の込めたおもてなしにより、多くの参加者の皆様にご満足頂けたと思います。第44回慈善茶会後の懇親会は、当会議所メンバーが、参加者の皆様と様々な意見を交換し親睦を深めると共に感謝の意をお伝える事が出来ました。この様な一つの事業を成し遂げた達成感を感じられた事は、更なる信頼関係を築く事に繋が、関係諸団体の皆様により一層当会議所の運動へご理解とご協力を賜る事に繋がる機会になったと確信いたします。

この一年を振り返りますと、皆様のご協力やご支援が無ければ、委員長として一年間活動出来なかったと思います。本当に皆様には、心から感謝申し上げます。反省点も多くありますが、しっかり反省し今後に生かしていければと思います。

最後になりますが、鈴木理事長をはじめとする正副の皆様、榊原副委員長をはじめとする各部長の皆様、ご協力頂きました全ての皆様に心から感謝を申し上げさせて頂き、慈善茶会実行委員会の委員会報告とさせていただきます。一年間 本当に有難う御座いました。

拡大交流委員会

委員長 名：宮川 史生

副委員長 名：内海 修治

委員 名：久坂 誠治、田子 慎祐、竹生田 修、田中 美登、長南 光紀、
牧田 芳明、光山 英虎、メタ バラッツ、山内 英之

1) 事業報告

(I) 会員拡大、オリエンテーション及びセミナーの実施

- (a) 内 容：会員の拡大、青年会議所の基本概要の説明、新入会員の育成、
拡大ツールの作成
- (b) 時 期：2012年 1月～12月
- (c) 開催 場所：鎌倉市内及び近隣各所
- (d) 対 象：会員拡大：新入会員6名
オリエンテーション・セミナー：6名

(II) 諸先輩方との交流を通してより良い関係を構築する事業の開催

- (a) 内 容：メモリアルデーの開催
- (b) 時 期：2012年 3月13日
- (c) 開催 場所：鎌倉山下飯店
- (d) 対 象：正会員28名、OB22名、ゲスト 1名

(III) 近隣LOMと共に会員同士の交流を図る事業の開催

- (a) 内 容：3LOM合同例会の開催（主管：社団法人 逗子葉山青年会議所）
- (b) 時 期：2012年 6月19日
- (c) 開催 場所：湘南国際村センター
- (d) 対 象：社団法人 逗子葉山青年会議所 正会員11名、ゲスト10名
社団法人 藤沢青年会議所 正会員24名、ゲスト 0名
公益社団法人 鎌倉青年会議所 正会員24名、ゲスト 5名

(IV) 家族への感謝を示し、活動への理解を深めていただく事業の開催

- (a) 内 容：家族交流会の開催
- (b) 時 期：2012年10月20日
- (c) 開催 場所：アマンダンブルー鎌倉
- (d) 対 象：正会員26名、ゲスト 2名、家族・関係者20名

2) 委員会報告

拡大交流委員会では、継続的なまちづくり運動およびその更なる活性化の為には会員の増加とそれぞれの活動への積極的な参加が欠かせず、活動を行う上で現役会員と新入会員とが結束すること、また、諸先輩方とのつながりや近隣LOMとの連携、家族からの理解や支えは欠かせないものであると考え、以下のふたつの事業を軸に一年間活動をしてまいりました。

拡大事業では、ここ数年のうちに卒業する会員を数多く抱える現状を考え、最重要課題として地域に必要とされる資質を備えた会員の増強を目指しました。新入会員にはオリエンテーション及びセミナーを実施し、青年会議所活動への意識を高く持ち積極的に参加する会員となるべく育成に努めました。交流事業では、諸先輩方との交流会を通して敬意と感謝の想いを抱きより良い関係を構築しました。また、近隣LOMと共に事業を行うことで会員同士の交流を図り、さらに、家族への感謝を示す交流会を開催して家族同士で楽しみながら活動への理解を深めていただきました。

年間の活動を通じ、志を同じくする仲間や新しく出逢う仲間、尊敬する諸先輩方、大切な家族との「つながり」すなわち「縁」の大切さを会員に感じていただきました。その縁を活かすことで鎌倉のまちづくり運動が過去から未来へと繋がりながら更に活性化し、その先に我々の目指す「明るい豊かな社会の実現」の一助となったことを確信致します。

最後となりますが、ご指導いただきました鈴木理事長をはじめとする正副理事長の皆様、温かくご指導いただいた当委員会担当の渡邊副理事長、励ましあい、時には意見をぶつけ合いながら事業を創り上げた委員会メンバーの皆様、そして、鎌倉青年会議所すべてのメンバーの皆様に深く感謝を申し上げ委員会報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

まちづくり委員会

委員長 名：磯部 伸夫

副委員長 名：柿澤 伸宜、平井 麻衣子

委員 名：河村 琢磨、栗原 正樹、榊原 正博、蓮見 太郎、兵藤 忠洋、
樋渡 悠浩、松尾 崇、御代川 洋平、柳澤 大輔、山本 朋広

1) 事業報告

(Ⅰ) 災害時における知識、リーダーシップを発揮できる能力を高める事業の開催

(a) 内 容：勉強会の開催

(b) 時 期：2012年 4月10日（火曜日）

(c) 開催場所：鎌倉商工会議所301会議室

(d) 対 象：正会員26名 入会希望者2名 協力団体3名

(Ⅱ) まちの災害時における問題点を考え、対応力を高める事業の開催

(a) 内 容：研修・体験事業の開催

(b) 時 期：2012年 8月19日（日曜日）

(c) 開催場所：鎌倉海浜公園 由比ガ浜地区

(d) 対 象：正会員30名 入会希望者2名 協力団体10名
市民200名

(Ⅲ) 安全で安心なまちを次世代に引き継ぐ道標となる事業の開催

(a) 内 容：研修事業の開催

(b) 時 期：2012年 11月23日（金曜日）

(c) 開催場所：鎌倉市役所 鎌倉商工会議所

(d) 対 象：正会員30名 入会希望者2名 協力団体60名
市民140名

2) 委員会報告

本年のまちづくり委員会は、次世代にも安全で安心できるまちにする一助となるべく一年間活動しました。鎌倉青年会議所は、鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会と「災害時におけるボランティアセンター開設と運営に関する協定書」を締結しております。そして、本年のまちづくり委員会はこの協定書をより有機的、機能的なものとするべく、三者の関係を強め、具体的な訓練を行うことを念頭に行動しました。

4月例会では、有事に社会的役割を果たせるように、会員の資質を向上すべく、災害に対する当会議所のこれまでの取組、現在の枠組、青年会議所に期待される役割をあらためて学びました。また、鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会にもご協力、ご参加をいただき、協力団体との関係を強めることができました。

8月例会では、「こども防災フェスタ！」と銘打ち、海浜公園由比ガ浜地区にて鎌倉市消防本部を迎え、当会議所と協働での体験型講座を設けました。多くの市民、協力団体にご参加をいただき、さらに多くの子供達とふれ合うことで、あらためて安全で安心できるまちとするための使命感を感じました。

そして、11月例会では、鎌倉市・鎌倉市社会福祉協議会と三者の共同主催により、「鎌倉市災害ボランティアセンター設置運営訓練」を開催しました。当日は荒天でしたが、幅広い世代の多くの市民、協力団体にご参加いただきました。また、NPO団体等と三者との意見交換の場を作ることで、ALL鎌倉として災害対策の枠組みを作る第一歩となりました。

本年の当委員会の活動を通して、各所において理事長の掲げている「縁」を構築することができました。また市民参加の公開例会の開催で、会員の皆様には多くの労をかけたが、一つの事業を一緒に作り上げることで、内部の信頼関係の「縁」に繋がったと思います。そして、年間の活動を通して、当委員会の目的である次世代にも安全で安心できるまちにする一助になったと確信致します。最後に貴重なご意見を頂き、長時間お付き合いいただいた会員の皆様、共同団体をはじめとするご協力、ご参加いただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げまちづくり委員会報告といたします。

総務広報委員会

委員長名：森 秀樹

副委員長名：長谷川 貴哉

委員名：大崎 厚郎、大西 広朗、荻野 洋基、木内 伊作、黒木 伸太郎、
佐藤 忠之、箱田 英希、二見 宏史、源 光士郎

1) 事業報告

(I) 会議の開催及び青年会議所運営全般

- (a) 内容：総会並びに理事会の開催、鎌倉青年会議所の運営
- (b) 時期：2012年 1月～12月
- (c) 開催場所：鎌倉商工会議所202会議室他

(II) 広報に関する事業

- (a) 内容：ホームページの管理・運営、外部への情報発信および周知の取り組み
- (b) 時期：2012年 1月～12月

(III) 信頼関係をより強固にする事業の開催

- (a) 内容：①賀詞交歓会の開催
②次年度理事長を囲む会の開催
③「年末式典・卒業式」・「卒業生の門出を祝う会」の開催
- (b) 時期：①2012年 1月24日（火曜日）
②2012年 7月24日（火曜日）
③2012年12月11日（火曜日）
- (c) 開催場所：①鎌倉パークホテル 翠雲の間
②中国料理 二楽荘 2F
③鎌倉商工会議所 地下ホール・鎌倉華正楼
- (d) 対象：①正会員31名 OB33名 入会希望者3名 来賓29名
来訪JC46名
②正会員24名 OB19名 入会希望者1名
③正会員32名 OB15名

(IV) 渉外に関する事業

- (a) 内容：①(公社)日本青年会議所の事業への参加
②関東地区協議会の事業への参加
③神奈川ブロック協議会の事業への参加
④出向者支援

⑤関係諸団体の事業への参加

(b) 時 期：2012年 1月～12月

(c) 開催場所：①福岡県北九州市他

②山梨県甲府市・千葉県千葉市他

③神奈川県内及び近隣地域

⑤鎌倉市内及び近隣地域

(d) 対象：①正会員14名

②正会員6名

③正会員23名 入会希望者1名

2) 委員会報告

鎌倉青年会議所は永年の活動を通じて地域から信頼される団体となりました。それは地域に根ざして取り組んできた為であり、これからもこの信頼関係をより強固なものにする事が重要です。そこで2012年度の総務広報委員会では、まず当委員会の職務を厳粛かつ円滑に行う事より地域から信頼される団体になると考え、会議の開催及び青年会議所運営全般として、総会や理事会において、議事録作成、総会資料作成を含む諸会議の運営を的確に行って参りました。

次に、市民からの鎌倉青年会議所の認知度と信頼をより一層高める為に、広報に関する事業として当会議所が行う事業の告知や事業報告をホームページに掲載すると同時に、従来のホームページを見直し大幅なリニューアル作業にも着手致しました。ホームページの更新については、よりスピーディに行わなければならないという反省もありましたが、当会議所の事業を紹介する事が出来たと考えております。また、リニューアルにつきましては年内中の運用を目指しておりましたが、大幅な遅れが出てしまった事は当委員会として反省しております。しかしながら、今後の市民への認知度を高めるには最適なホームページが完成したと当委員会は考えております。

また、渉外に関する事業として、日本青年会議所や関東地区協議会、神奈川ブロック協議会に出向する会員をサポートすると同時に、市内関係諸団体などが行う事業に鎌倉青年会議所メンバーの積極的な参加・参画を促すよう努めて参りました。当会議所の多くのメンバーが積極的に事業へ参加し、出向するメンバーのサポートを行う事で、会員同士の結びつきが強くなり、関係諸団体との繋がりを深める事で、当会議所の地域に対する信頼関係をより強固にし、組織基盤の強化へと繋がったものと確信致します。

本年度、初理事・委員長として自分なりに1年間頑張って参りましたが、不手際による反省点も多々ございました。最後になりますが、ご指導・ご鞭撻を多々頂きました鈴木理事長をはじめとする正副の皆様、様々な面で支えて下さった川島専務並びに長谷川副委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様、そして鎌倉青年会議所全てのメンバーの皆様に深く感謝申し上げます、委員会報告とさせていただきます。有難うございました。